

福岡県スポーツ少年団が提唱するACP (アクティブ・チャイルド・プログラム)

《遊びのSDGs》

SDGs」

1 基本テーマ

～「遊び」は子どもの主食です！～

このプレゼンテーションは、福岡県スポーツ少年団が提唱するACPについてです。ACPとは、アクティブ・チャイルド・プログラムの英字の頭文字から取った、幼児及びその保護者等を対象にした活動プログラムのことです。

このACPは、日本スポーツ協会が日本スポーツ少年団を通じて推進しているもので、幼少期の子どもが様々な運動遊びを通じて、楽しく、積極的に体を動かす中で、元気な子供を育むための推進プログラムです。

このプログラムを通して、近年、問題視されている子どもの体力低下と、外遊びをしないという問題の解消に努めるものです。

福岡県スポーツ少年団では、これまでACP活動に積極的に取り組んでできませんでした。その必要性を認識し、今回「遊びは子どもの主食です！」をテーマとする福岡県独自のACPプログラムを提唱し、その取り組みを行政や幼稚園、保育所、学童保育所などの機関・団体等と連携して、積極的に推進していく考えです。

この福岡県独自のACPは、「遊びのSDGs」というタイトルで取り組んでいきます。SDGsというと、国連が提唱したサステナブル・デベロップメント・ゴールズの英字の頭文字から取った「持続可能な開発目標」ですが、福岡県スポーツ少年団が提言したACPは、この趣旨を踏まえた子どもの「遊び」を主体とする運動・スポーツ活動の「持続可能な開発目標として展開していきます。

遊びのSDGs

2 基本タイトル

～遊びを通じた子どもたちの持続可能な 運動・スポーツ『遊びのSDGs』～

S・・・「Song」歌やリズム遊び

D・・・「Dance」ダンス・踊りなど

G・・・「Game」ゲームや軽・ニュースポーツなど

s・・・「S」「D」「G」による「複合遊び」

タイトルの「遊びのSDGs」のアルファベットに合わせて「S」はソング、「D」はダンス、「G」はゲームや軽・ニュースポーツ、そして最後の小文字のsはソング、ダンス、ゲームの「複合遊び」という枠組みで構成しています。

ちなみに小文字のsには、今の社会で問題となっている「家に引きこもり、インターネットやゲームで遊ぶ」という子どもたちを、外に連れ出して「より良い心と体を健全に育成し、社会で躍動するための生きる力」を育む持続可能な開発目標としてさまざまな、複合的な「遊び」の仕組みをスタートさせるという意味もあります。

遊びのSDGs

3 『遊びのSDGs』のねらい

- (1) 愛着形成を図ります
- (2) 生活能力と役立ち感を養います
- (3) 五感や体力を工場させます
- (4) より良い生活習慣と生活のリズムの定着をはかります

この取り組みの狙いは、

- 愛着形成を図ること
- 生活能力と役立ち感を養うこと
- 五感や体力を向上させること
- 最後に、より良い生活習慣と生活のリズムの定着をはかることを掲げています。

遊びのSDGs

4 子どもが主役となる「遊び志向」がキーワード

(1) 経験させたい「遊び」(運動・スポーツ)活動(36種類の動作)の推進

① 移動系9種類 ② バランス系9種類 ③ 操作系18種類

＜※山梨大学副学長 中村和彦先生提唱＞

(2) 子どもたちの興味や能力に応じた「遊び」(運動・スポーツ)や子どもが自己決定する「遊び」(運動・スポーツ)を提供

この取り組みは、大人が型にはめて行う遊びではなく、「楽しい・面白い遊び」で子どもの方から興味を持ち、子どもが主役となる「遊び志向」が鍵となります。

近年、ジュニアスポーツの活動現場における問題として、チャンピオン主義（勝利至上主義）による弊害があげられます。

そこで、幼児期から小学校低学年のスポーツ活動においては、勝利至上主義主体のスポーツではなく、「遊び志向」のスポーツへの転換を図っていきます。

そして、「運動はおもしろい」を実感することの大切さを「36の動作」で山梨大学副学長の中村和彦先生が提唱されていますので、これらの動作を取り入れた「遊び」を通じて、ACPの目標である楽しく、積極的に体を動かす中で、元気な子どもを育み、逞しく、強い子どもの心と体づくりを推進していきます。

福岡県のACPIは、3歳児の未就学児から小学校3年生までの低学年の子どもたちを対象に、「遊びは子どもの主食」をテーマに、この「遊びのSDGs」に取り組んでいきます。

遊びのSDGs

5 将来のあるべき姿（ビジョン）

- 「楽しそうに遊んでいるようにしか見えない」
＝ 「子どもの発達に必要な動作」 ⇒ 「運動・スポーツ」
- 「遊び」 ⇒ 「子どもたちの日常の体力づくり」
⇒ 「運動・スポーツ」
- 「遊び」 ⇒ 「運動・スポーツ」
⇒ ワクワクするような「子どもの運動・スポーツストーリー」

この活動が目指すものは、「遊び」で運動とスポーツに慣れ親しみ、楽しいから夢中になり、自主性・主体性を育むことです。

子どもたちの成長と共に「遊び」から「運動・スポーツ」へと転換し、発展していくことで、関わるすべての人がワクワクするような「子どもの運動・スポーツストーリー」を作ります。

遊びのSDGs

6 『遊びのSDGs』を成功させるための取り組み（案）

- (1) (仮称) 「遊びのSDGsの日」の制定と活動の展開
 - ・ 毎週水曜日を「遊びのSDGsの日」に制定
 - ・ 幼稚園・保育所・学童保育所でカリキュラム策定・実践
 - ・ 助成制度を設置（公益財団法人福岡県スポーツ協会協賛企業等支援事業）
 - ・ 学童保育所に入所していない児童や保護者も参加
 - ・ 「放課後子ども教室」「アンビシャス広場」補助金の活用

ここまで紹介した「遊びのSDGs」という取り組みを成功に導き、持続可能な取り組みとしていくためには、幼稚園や保育所、学童保育所などの関係機関・団体等と密に協議し、協力体制を構築していかなければなりません。

特に、毎週水曜日の「遊びのSDGsの日」の制定運動については、国や県・市町村が一体となって強く推進した第3日曜日の「家庭の日」のように、県や市町村、それに青少年の健全育成を推進している福岡県青少年育成県民会議や市町村の青少年育成市・町・村民会議と連携し、幼稚園や保育所・学童保育所と共同のカリキュラムを策定するなどの取り組みが求められます。

そのためには、活動資金の確保が必要となりますので、福岡県スポーツ協会の協賛企業等の支援をお願いしたいと考えています。

また、文部科学省の「放課後子ども教室補助金」や福岡県の「アンビシャス広場補助金」の活用等も視野に入れて、推進していきます。

遊びのSDGs

7 おわりに

- 「チャンピオン主義」
⇒ 「過度な練習」 ⇒ 「事故や怪我」 ⇒ 「心と体に大きな負担」
- 運動能力 「決められた運動・競技種目」 < 「自由に遊ぶ」
- 運動が好きになる 「競技志向（成績志向）」 < 「遊び志向」
- 「一緒に遊ぶ子どもの数・・・多い」 = 「運動能力・・・高い」

《「遊び」を主体とする運動・スポーツを通じて
しっかりと育てていく》

皆様におかれましては、この取り組みを初めて耳にした方もいらっしゃるかもしれませんが、最後に要点を説明させていただきます。

近年、主軸となっているチャンピオン主義と言われている勝利至上主義のスポーツから、「遊び志向」のスポーツへの転換を促していくのが、このACPの活動目標の一つです。

「遊び」でスポーツに慣れ親しみ、楽しいから夢中になり、それらを通じて自主性・主体性を育てていきます。

子どもたちの成長と共に「遊び」から「運動・スポーツ」へと転換し、発展していくことで、関わるすべての人がワクワクするような「子どもの運動・スポーツストーリー」を作っていきます。

それが「遊びのSDGs」です。

この「遊びのSDGs」を展開することで、家に引き込み気味の子どもや、ゲームに夢中になって体を動かすことが少ない子どもを外に引き出し、友達と一緒に元気に走り回る子どもたちを、関係機関・団体としっかり連携・協働して取り組んでいきます。

参考 BBクラブ「学び場支援事業」(D市)

《おもいっきり遊『び』 すっきり学『び』》

◇ 子どもたちが安心して、楽しく学ぶことができる「場」を・・・という願いから出発し

た事業です。

◇ 子どもたちが、明るい未来を描くための「基礎基本の力」「自学自習の力」、そして「人の間で伸びる力」をつけることを目指しています。

登録要件	希望する全ての児童（基本的には4年生～6年生で、参加費で運営）
活動日	市内全小学校で週2階開催（学校別に開催日が異なる）
活動内容	「遊び場」（放課後～17時） ・ 体育館で思いっきり遊んだり、室内で工作やゲームを楽しんだりします。 「学び場」（17時～18時） ・ 遊びから学びに切り替え、まず宿題、その後事務局作成のBBプリントで学習
指導者	公募による学び場スタッフ （地域の大人や学生、教職員OBなどで構成し、1日800円の謝金を支給）

このD市のBBクラブ「学び場支援事業」は、希望する全ての子どもたちに、地域の大人が支援員となって、週に2回、小学校の放課後に「遊び」から始まって、その後に「プリント学習」をします。

この遊びの「び」と学びの「び」を取って、BBクラブと呼ばれています。

BBクラブのねらいは、子どもたちが安心して、楽しく学ぶことができる「場」づくりという願いから出発し、子どもたちが、明るい未来を描くための「基礎基本の力」、そして「人の間で伸びる力」を付けることと位置付けています。

このねらいは、福岡県スポーツ少年団が提唱している、「遊びのSDGs」と一致するものがありますので、参考として紹介しています。

参考 ランドセルクラブ（C市）

	R登録	G登録
登録要件	希望する児童	学童保育所の要件と同じ
活動日	週3日	毎日
活動内容	かけっこ、ドッジボール、音楽遊び、折り紙、三味線、ひよっこ踊り、護身術、水道管パイプでハンガーラック作り、高所作業車体験、宿題、タブレット	
指導者	体育教室指導講師、音楽教室講師、公民館活動団体、市内事業者、学習見守りボランティア	

このC市のランドセルクラブは、地域の大人が支援員となって、週に3日、小学校の放課後に、D市のBBクラブとは逆に「学校の宿題」を先にして、それが終わったら運動場や体育館で思い切り「遊び」、「学校の勉強以外の多種多様な学びで成長する」というカリキュラムです。

このランドセルクラブも、福岡県スポーツ少年団が提唱する「遊びのSDGs」のねらいと一致しますので、参考として紹介しています。

ご静聴ありがとうございました。